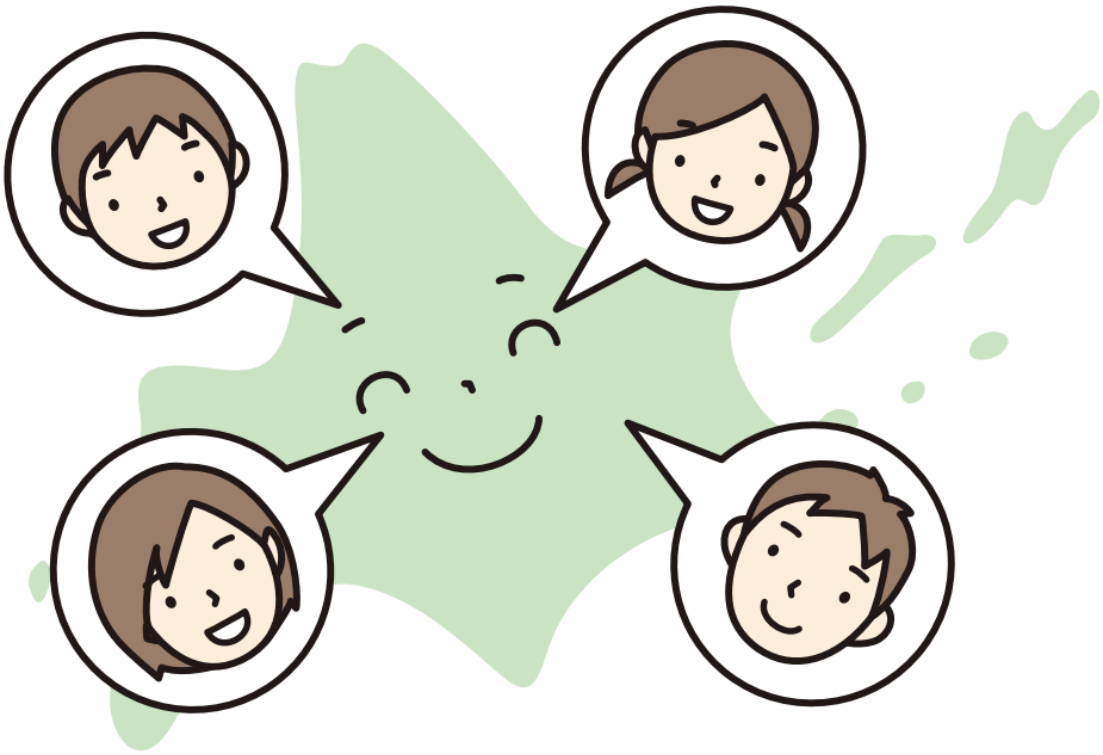
令和７年度北海道こどもの意見反映推進事業

フィードバック資料

北海道総合教育大綱について



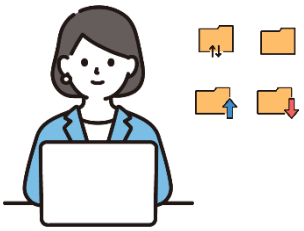
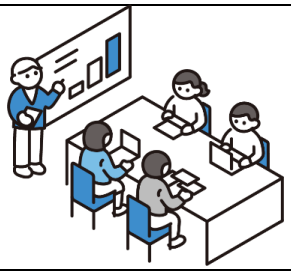
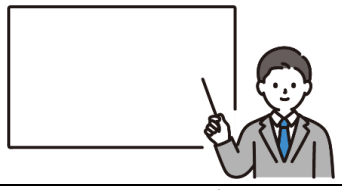
北海道総務部行政局学事課

（１）　意見募集の概要

	協力校での対面実施	ＷＥＢアンケートなど
いつ	令和７年９月18日～11月25日	令和７年９月30日～12月５日
どこで	北海道内の小学校・中学校・高等学校５校	オンライン及び協力校以外の北海道内の小学校・高等学校３校
だれに	クラスの児童生徒や、生徒会に所属している生徒など 95名	北海道に住んでいるこども・若者 [回答者数] （設問１：118名、設問２：97名）
方法	児童生徒が、学校を直接訪問したファシリテーターと対話しながら、思ったことを付箋に書き出してもらう方法で意見を聴きました。	匿名のＷＥＢアンケートや、対面での意見募集を実施した学校以外の学校を通じて、意見を聴きました。
設問１	４つの基本方針の中で、最も大事だと思うものはどれですか？ また、大事だと思う理由を教えてください。 	
設問２	４つの基本方針にしたがった取組の中で、あなたが足りていないと思うものはどれですか？また、それをより良くしていくためには、どのようなことを行えば良いと思いますか。 	

（２）意見の取りまとめ・活用方法の検討

沢山の意見をもらったので、次のような方法で取りまとめ・活用方法の検討を行いました。

順番	内容
①	学校での意見募集やＷＥＢアンケートを実施してもらい、意見をもらう。 ↓
②	もらった意見を、担当する係の人が全部読む。 ↓
③	似ている意見をグループごとに分ける。 ↓ 
④	意見の活用方法を検討する。 ↓ 
⑤	もらった意見とその活用方法を資料にまとめて、ホームページで公表する。 

※グループごとに分けた意見の一覧は、こちらのホームページで公開しています。

（URL：https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kms/r6iken.html）

（3）意見のポイント

設問１：４つの基本方針の中で、最も大事だと思うものはどれですか？

また、大事だと思う理由を教えてください。

＜４つの基本方針＞

基本方針1　北海道の未来をつくる人を育てる

基本方針2　誰一人取り残されないこどもの学びと育ちの環境をつくる

基本方針3　まちや仕事を元気にする人を育てる

基本方針4　いくつになっても、新しいことを学ぼうとする人を育てる

北海道の未来をつくる人を育てる

- 全てのこどもが、よりよい保育や教育を受けられるようにします。
- 自分のよさや可能性を認め、他の人もお互いに認め合い、これからの社会をつくることができる人を育てる教育を進めます。
- 北海道のすばらしい自然や食べもの、縄文文化・アイヌ文化などの特色ある歴史や文化を理解して、北海道に生まれ育ったことを大切に思い、ふるさとを好きだと思うことができるようにします。

誰一人取り残されないこどもの学びと育ちの環境をつくる

- 家庭、学校、まちの人たちなど、みんなで協力して、こどもたちが安全で安心して学ぶことができる環境をつくります。
- こどもたちから意見を聞きながら、こどもたちが元気に成長することを社会全体で支えます。
- いじめのない北海道を目指して、学校とまちの人たちが全力で、いじめの発生をふせぎながら、早く発見して、対応します。
- みんなで力を合わせて、だれもがたくましく生きることができるよう、よりよい教育を受けることができる取組や、デジタルを活用した教育を進めます。
- 学校の先生がよりよい授業ができるよう、働きやすい環境をつくります。

まちや仕事を元気にする人を育てる

- 北海道の農業や漁業、観光業で働く人や、まちの産業を支える人、医療・福祉で働く人、デジタルを活用する力を持つ人を育てます。
- まちで困っていることの解決や、特色あるまちづくりのため、自分の活動がまちを支えるという気持ちを高めていきます。
- 海外から移り住んできた人が北海道で安心して暮らすことができるよう、お互いの文化や生活の理解を進めます。

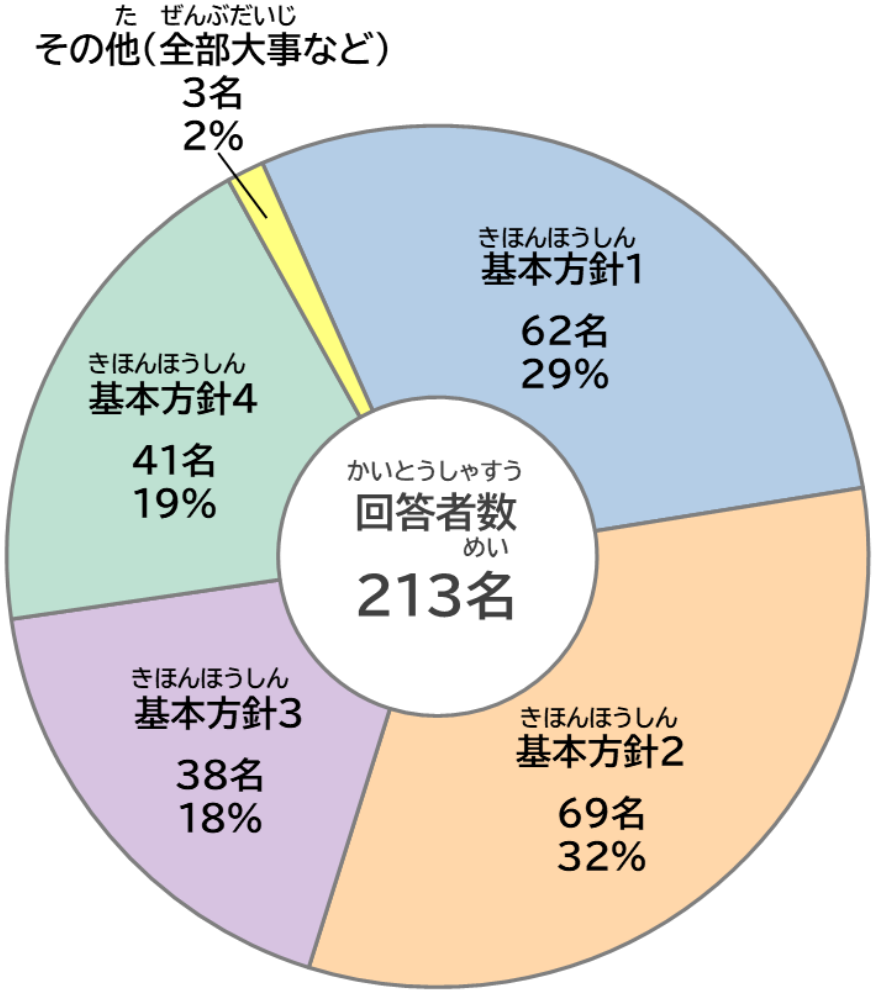
いくつになっても、新しいことを学ぼうとする人を育てる

- こどもから大人まで、何度でも学ぶことができる環境づくりを進めます。
- 公民館や図書館、博物館などが協力して、まちづくりや、まちの人たち同士でつながることができるようにします。
- まちで、こどもたちが芸術文化やスポーツに親しむ環境をつくります。
- アイヌ文化など北海道の大事な財産を多くの人に知ってもらい、守っていく活動を進めます。

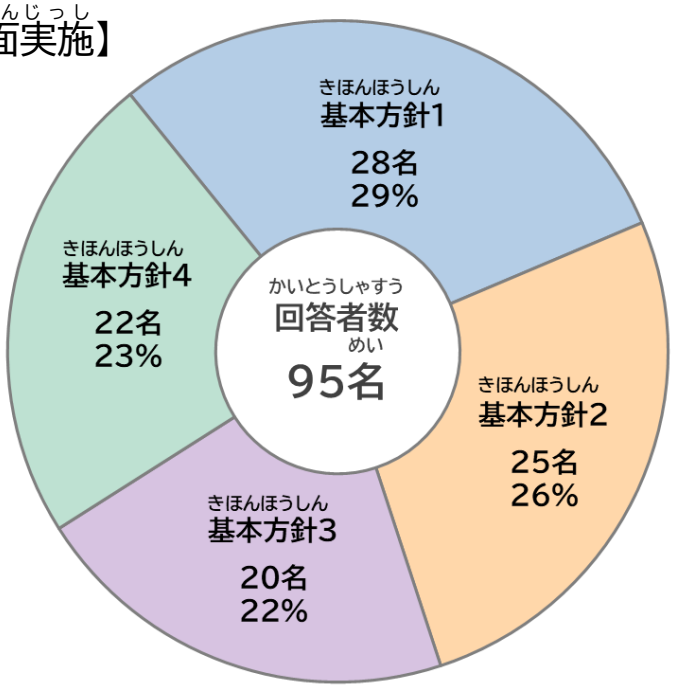
➢　みなさんの答え

◆　４つの基本方針の中で、最も大事だと思うもの

【回答結果】



【うち協力校での対面実施】



◆ 大事だと思う理由（主な意見）

基本方針	理由（主な意見）
1 北海道の未来をつくる人を育てる	○「全てのこどもがよりよい保育や教育を…」の部分が一番重要になってくると思った。 ○北海道の未来をつくる人を育てることで、これから先新しい事を学んでいけたり、文化が続くことにつながる。 ○自分のことや北海道の良さを認め合うことで、自分の地域に愛着がもてる（自己肯定感が上がる）。 ○歴史や文化（アイヌ文化を含む）を理解しＰＲすることで、北海道が有名になり、他の国にも認められる未来になる。 ○未来をつくる人がいないと未来がなくなるため、これからの北海道を発展させるためにも未来をつくる人を育てることが大事。
2 誰一人取り残されないこどもの学びと育ちの環境をつくる	○安心・安全に学べる環境があることがとても大切であり、これがないとその他の目標も達成できない。 ○誰一人取り残されないようにし、皆平等になることが、みんなが楽しく幸せになるために必要。 ○独りだったりいじめがあったりすると不安で焦るため、いじめのない学校をつくり、救ってくれる環境が必要。 ○みんなが活躍でき、協力しやすい環境をつくることで、より良い教育を受けることにつながる。 ○意見を聞ける環境をつくることや、教育を発展させることでこどもの生活が良くなり不登校が減る。

基本方針	理由（主な意見）
3 まちや仕事を元気にする人を育てる	○まちや仕事が魅力的だったら、その地域で生活していきたいと思え、地方の人口減少緩和につながる。 ○まちや仕事を元気にすることで、地域全体が楽しくなり、皆が笑顔になる（仕事へのやる気も出る）。 ○海外から来た人が日本で安心して暮らせるように工夫し、協力してまちを元気にできることが大事。 ○北海道をもっと長く続けるには、一つひとつのまちを元気にさせる必要があり、特色でまちを活発にできる。 ○人と人の助け合いや、大人たちが困っていることを聞いてくれることが大切。
4 いくつになっても、新しいことを学ぼうとする人を育てる	○新しい事を学ばないと未来は変わらず、知識がないことになるため、常にチャレンジし成長することが大切。 ○こどもから大人まで関係なく、いくつになっても何度でも学ぶこと（チャレンジ）ができる環境が必要。 ○新しい事を学ぶことよって、創造力を豊かにし、新たなアイデアが出る（探求心があることが大切）。 ○スポーツや芸術文化、アイヌ文化など多様な分野に親しむことで、まちが活発になったり、知識が身に付いたりする。 ○公民館や図書館など、たくさんの人たちが使える場所で、皆で協力して学べると効率が良い。

➢ みなさんの答えから分かったこと

４つの基本方針の中で、最も大事だと思うものについて、対面とＷＥＢアンケートでそれぞれ意見を伺いました。

結果は、基本方針１「北海道の未来をつくる人を育てる」が２９％、基本方針２「誰一人取り残されないこどもの学びと育ちの環境をつくる」が３２％、基本方針３「まちや仕事を元気にする人を育てる」が１８％、基本方針４「いくつになっても、新しいことを、学ぼうとする人を育てる」が１９％であり、基本方針１と２が、基本方針３や４と比べて高い割合となりました。この結果から、全ての方針がいずれも大事だと受け止められているとともに、未来をつくる人を育てることや、こどもが安心して学び、成長ができる環境を整えることが、より大事であると受け止められているという傾向が見られました。

寄せられた意見では、「未来をつくる人がいないと未来がなくなる」、「安心・安全に学べる環境がないと他の目標も達成できない」といった声のほか、「人と人の助け合いや、大人たちが困っていることを聞いてくれることが大切」、「たくさんの人たちが使える場所で、皆で協力して学べると効率が良い」など、こどもが成長するために、こどもを支える教育環境や人づくりが重要であるといった意見が多くありました。

設問２：４つの基本方針にしたがった取組の中で、あなたが足りていないと思うものはどれですか？また、それをより良くしていくためには、どのようなことを行えば良いと思いますか。

＜４つの基本方針にしたがった取組＞（１／２）

基本方針１「北海道の未来をつくる人を育てる」

① 全てのこどもが、よりよい保育や教育を受けられるようにします。

② 自分のよさや可能性を認め、他の人もお互いに認め合い、これからの社会をつくることができる人を育てる教育を進めます。

③ 北海道のすばらしい自然や食べもの、縄文文化・アイヌ文化などの特色ある歴史や文化を理解して、北海道に生まれ育ったことを大切に思い、ふるさとを好きだと思うことができるようにします。

基本方針２「誰一人取り残されないこどもの学びと育ちの環境をつくる」

④ 家庭、学校、まちの人たちなど、みんなで協力して、こどもたちが安全で安心して学ぶことができる環境をつくります。

⑤ こどもたちから意見を聞きながら、こどもたちが元気に成長することを社会全体で支えます。

⑥ いじめのない北海道を目指して、学校とまちの人たちが全力で、いじめの発生をふせぎながら、早く発見して、対応します。

⑦ みんなで力を合わせて、だれもがたくましく生きることができるよう、よりよい教育を受けることができる取組や、デジタルを活用した教育を進めます。

⑧ 学校の先生がよりよい授業ができるよう、働きやすい環境をつくります。

＜４つの方針にしたがった取組＞（２／２）

基本方針３「まちや仕事を元気にする人を育てる」

⑨　北海道の農業や漁業、観光業で働く人や、まちの産業を支える人、医療・福祉で働く人、デジタルを活用する力を持つ人を育てます。

⑩　まちで困っていることの解決や、特色あるまちづくりのため、自分の活動がまちを支えるという気持ちを高めていきます。

⑪　海外から移り住んできた人が北海道で安心して暮らすことができるよう、お互いの文化や生活の理解を進めます。

基本方針４「いくつになっても、新しいことを学ぼうとする人を育てる」

⑫　こどもから大人まで、何度でも学ぶことができる環境づくりを進めます。

⑬　公民館や図書館、博物館などが協力して、まちづくりや、まちの人たち同士でつながることができるようにします。

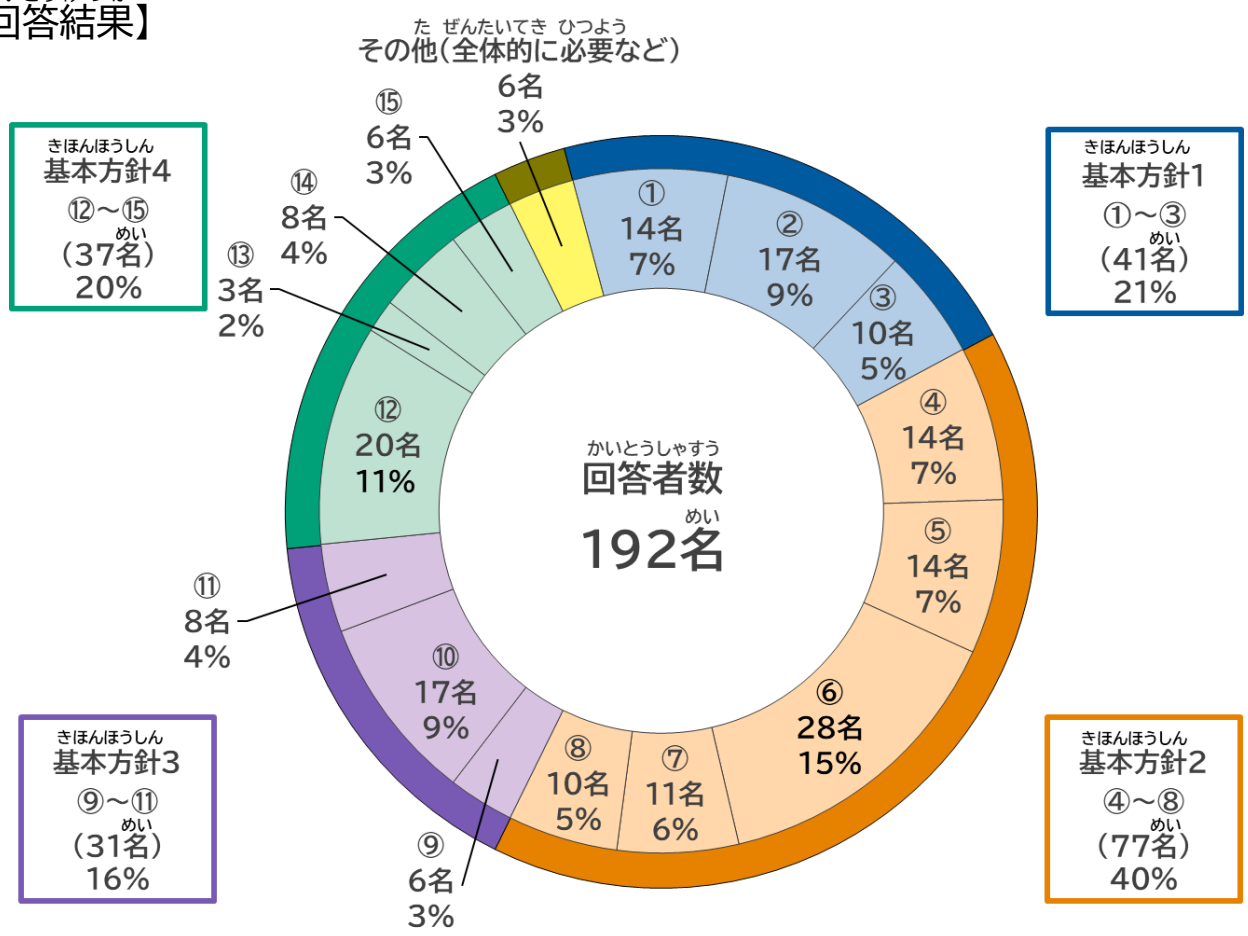
⑭　まちで、こどもたちが芸術文化やスポーツに親しむ環境をつくります。

⑮　アイヌ文化など北海道の大事な財産を多くの人に知ってもらい、守っていく活動を進めます。

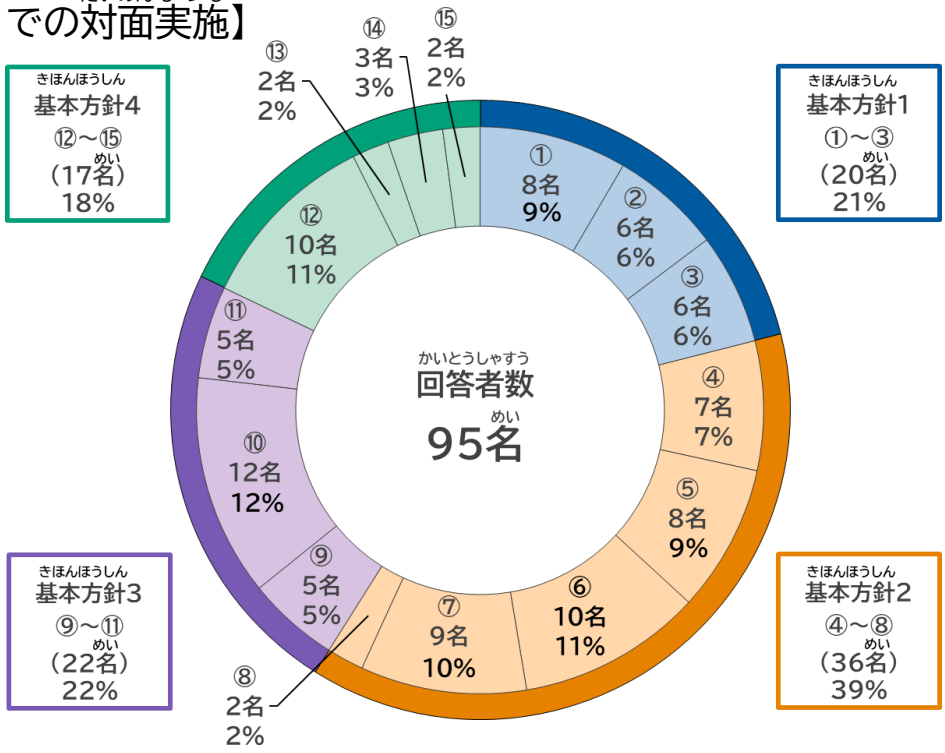
➢ みなさんの答え

◆ ４つの基本方針にしたがった取組の中で、足りていないと思うもの

【回答結果】



【うち協力校での対面実施】



◆　より良くするために、どのようなことを行えば良いか（主な意見）

基本方針	取組	行うと良いこと（主な意見）
1	①	○簡単に詳しく教えてもらう ○もっともっとよい教育や保育を受けられるようにする ○環境が悪いのでエアコンを設置してほしい
	②	○大人などの一部の人がこどもの可能性や将来を否定することがあるから、人の可能性や将来を否定しないことを意識付ける必要がある ○自分の良さを認められていないから、触れ合いを増やす
	③	○アイヌや特色ある文化などを深く学べる場が少ないから、特別授業だけではなく常設的授業としておく ○特色ある歴史や文化を理解すること、アイヌや縄文文化などに関わる機会を増やす ○ふるさとへの愛着を持っている人が少ないから、ふるさとの良いところをもっと知る
2	④	○安全で安心な場をつくる ○交通の少なさがあるので、夕方以降のバスや電車の本数を増やす ○授業中にトイレに行きにくいので、行きやすくする配慮
	⑤	○取り残されているこどもがいるかもしれないから、もっと意見を聞いた方が良い ○無理しているかもしれないから、楽しいことや遊びをやっていく ○勉強を強制させる先生が多すぎる

基本方針	取組	行うと良いこと（主な意見）
2	⑥	○発見されるいじめが少ない。教室や廊下に監視カメラをつける ○いじめのない環境づくりが足りていないから、気軽に相談できる環境やすぐに対応することのできる取組をする ○誹謗中傷やいじめをなくし、より良い環境をつくっていくために、ＳＮＳやスマホの授業を増やすべき
	⑦	○より良い教育はずっとはしにくいから、デジタルを取り入れる ○みんなが学べるように、個人で見てあげる ○デジタルをちゃんと活用できていないから、テレビ学習を取り入れる
	⑧	○先生の残業が多いと思うから、事務員さんを増やして先生をせめて19時までに帰らせる ○外部委託の仕事を増やす ○教育の働く環境を改善する（例）雑務を減らす、給料を増やす、こどもと触れ合う時間を増やす
3	⑨	○働く力がたりないから、ポスターなどで紹介する ○地元の職業見学の機会が少ないから、小学校～高校までの過程で年に一度程度行うことで、学生の地域の理解が深まる ○企業がなくならないか心配だから、ＣＭを出したりテレビ局にお願いしてみんながここに来る仕事にしたい

基本方針	取組	行うと良いこと（主な意見）
3	⑩	○元気にするには勉強が多すぎるから、休み時間を 50分にする ○まちに明るさがなく元気な感じがしないから、自分から変えようとする気持ちを持つ ○地域のために行動を起こせるように、イベントなどのボランティアとかに積極的に参加できるようにする
	⑪	○海外から来た人でも困らずに生活できるようにする ○海外から移り住んできた人が北海道で安心できるようにする ○海外から来た人が元気ではないかもしれないから、皆で元気を出させる
4	⑫	○入院している人は勉強ができないかもしれないから、タブレットやパソコンを貸し出してＺＯＯＭ授業をしてあげる ○こどもから大人まで何度でも学ぶことができる環境づくりが足りていないから、恥ずかしがらないで学ぶことができるような場を設ける ○大人になって分からないところがあっても何度も学べるから
	⑬	○公民館なども協力できることが、そもそも環境が良いと思うから ○博物館が欲しいから、博物館を建てる。博物館という存在をもっと身近にして欲しい ○まちの施設が協力してテレビに出す

基本方針	取組	行うと良いこと（主な意見）
4	⑭	○こどもたちが芸術文化やスポーツに親しめる環境づくりが足りないから、スポーツや芸術文化の素晴らしさをもっと伝える ○体育館やスポーツ施設が少なくて部活や遊びが限られるから、使われなくなった建物を再利用する ○地元に体育館が欲しい
	⑮	○アイヌに興味のない人が多いから、ポスターをつくって街に貼る ○アイヌ文化についての授業か講話を増やしてアイヌ文化について知ってもらい、守っていく活動を進める ○アイヌのことをもっと知ってもらう

➢ みなさんの答えから分かったこと

４つの基本方針にしたがった取組の中で、取組が十分でないと思うものについて、対面とＷＥＢアンケートでそれぞれ意見を伺いました。

結果は、全ての取組について十分でないと思う意見が寄せられましたが、その中でも基本方針別では、基本方針２「誰一人取り残されないこどもの学びと育ちの環境をつくる」にしたがった取組が、他の方針にしたがった取組と比べて、十分でないと思う人が多いことが分かりました。

取組別でみると、取組⑥「いじめのない北海道を目指して、学校とまちの人たちが全力で、いじめの発生を防ぎながら、早く発見し、対応します。」が、十分でないと思う人が最も多い結果となりました。いじめ問題は学校生活を送るこどもたちにとって身近な課題であり、命に関わる重大な問題として、あってはならないものであるため、取組の充実を求める意見が多く寄せられたものと考えられます。

また、取組⑫「こどもから大人まで、何度でも学ぶことができる環境づくりを進めます。」が十分でないと思う人が２番目に多い結果となりました。年齢や置かれている状況に左右されることなく学び続けられることが求められている中、通学等が困難な場合の学習の機会の確保や、分からないことを何度でも安心して学び直せる環境づくりなどが、現状では十分でないと感じている人が多いことから、このような結果になったものと考えられます。

取組をより良くするための方法として、取組⑥ではいじめの事前防止や早期発見のための対策、いじめにいち早く対応するための環境体制の整備に加えて、近年のデジタル技術の普及に伴ういじめの形態の変化に対応するための対策などの提案がありました。取組⑫ではタブレットなどの貸出や、ＺＯＯＭ授業の実施、年齢にかかわらず学習ができる場を設けるといった提案がありました。

（４）意見の活用方法

みなさんから教えてもらった意見を次のとおり活用します。

【北海道総合教育大綱に基づく取組の充実】

みなさんからの意見を踏まえ、総合教育大綱に基づく取組がより充実したものとなるよう、取組を実施する関係者で構成する「北海道総合教育大綱推進連携会議」において、意見の内容を報告し、それぞれの取組に反映することを確認しました。

また、意見を踏まえ、それぞれの取組にどのように反映したかを確認するため、今後、意見反映状況のフォローアップ調査を実施し、総合教育大綱に基づく取組を充実させていくための検討を、北海道が一丸となって行っていきます。

（北海道総合教育大綱推進連携会議の様子）